

三谷を育む



三谷中学区の各小中学校では、地域と連携した取り組みが順調に進んでいます。そして、来年度、いよいよコミュニティ・スクールとしてスタートします。

三谷中学校

推進員二人体制で活動に広がり

本年度は二人体制で取り組むことができたので、活動の範囲が広がったように思います。特によかったと思えるのは、「寿楽荘祭り」に総合的な学習で福祉に関心をもった1年生9名がボランティアとして、幼児から高齢者の皆さんと一緒に活動できたことです。貴重な体験ができたと思います。



2年生の「三谷をテーマにした学習」では、三谷祭をもっと知りたいという生徒の要望で、三谷祭保存委員会会長さんや交通指導員さん、各区の祭りをよく知る方に来ていただき、学習を深めることができました。夏休みには、放課後子ども教室の「ポスター教室」に美術部の生徒がボランティアとして小学生と一緒に活動しました。この他、草刈りボランティアの皆さんや授業サポーターの皆さん、そして、この1月からバスケット部の指導をしてくれるようになった方と情報交換などさせてもらっています。（小田勝一推進員・石黒敬一推進員）

三谷小学校

子どもたちの笑顔がうれしい！

今年度の活動として、校内草刈りに始まり、環境チャレンジ、町探検や山車を見学するなどの校外学習の付き添い、プール清掃、三谷の大工さんの協力での図工補助など、昨年度に引き続き多くのボランティアのみなさんの力を借りて活動することができました。また、今年度から始まった「放課後子ども教室」は文化4回、スポーツ1回の計5回の教室を開催しました。夏休みのポスター作りでは、三谷中学校の美術部員の応援もありました。ボランティアのみなさんありがとうございました。今後もお力添えをお願いします。そして何よりも子どもたちの笑顔が一番うれしいことでした。来年度へ向かって、また一步前進できたかな、と感じた一年でした。（平野良則推進員）



三谷東小学校

この1年を振り返って

今年度、校内学習補助（「1年生下校見守り」「1年生給食配膳」「おはなし会」「家庭科ミシン」「図工のこぎり」「1年生凧揚げ」「昔遊び」）を地域のボランティアさんと一緒に行い楽しく学べました。また、7月から12月まで行われた放課後子ども教室では「ポスター教室」「ダーツ教室」「工作教室（ハーバリウム作り、ミニ四駆）」「饅頭作り」など地域の講師さんに来ていただき有意義な時間を過ごすことができました。この1年を通して印象に残ったことは、いろいろな場面で子どもたちやボランティアの皆さんの笑顔を見ることができたことです。

